

九州・アジア/中国ビジネス研究会

第85回研究会開催案内

日時：平成26年2月24日(月) 18:30 — 20:30

場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL : 092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

講師：日本電気(株)顧問 岡田 高行(おかだ たかゆき)氏

略歴：1975年東京工業大学理学部応用物理学科修士課程卒業後、同年日本電気(株)入社。

1991年3月まで基本ソフトウェア開発本部にて、メインフレーム用のデータベースソフトウェア開発担当、オンライン・トランザクション処理ソフトウェア開発責任者等を歴任。

1991年から2009年まで、基本ソフトウェア・ミドルウェア事業に携わり、事業部長、事業本部長、執行役員を経験、その間、1992~1994年の間、中国科学院との会社設立の実務責任者(兼務)、ソフトウェアのオフショア開発会社設立を経験。1995年から1999年まで米国勤務、

Vice President, NEC Systems Laboratories を務める。日本電気(株)で初めて、ソフトウェア事業を米国で立ち上げるミッションに挑戦し、数社へのOEMに成功。同時に、ベンチャー会社発掘・投資のミッションも兼務。2009年4月より2012年12月まで米国勤務、北米統括会社(NEC Corporation of America)のPresident&CEOと日本電気(株)常務執行役員を兼ねる。年間売上\$700Mの北米統括会社の経営責任者として、赴任前の3-4年間連続大幅赤字(\$90M/年規模)であった会社をTransform, profitableな会社へ再建したことで、2012年上/下期の業績につき、2期連続で本社より社長賞受賞した実績を持つ。

テーマ：海外現地でのマネージメント

～北米での会社再建経験からみたポイント、中国・日本との違い～

概要：中国やアジア各国・地域の企業経営者は、米国流の企業経営のやり方を手本として取入れ、母国での事業、更にはグローバル進出を行っている。日本企業がアジア・中国で事業を成功させるためには、現地の優秀な人材の確保が基本であり、そのためには、その人たちを引き付け、引き留める魅力的な企業経営を、米国流経営を行っている現地企業に劣らない経営を実現することが不可欠である。その意味で、北米での企業経営を学ぶことは、アジア・中国ビジネスにとっても意味があると思われる。今回、北米での会社再建の経験を通して見えてきたマネージメントやリーダーシップのポイントについて、事例を通して紹介させて頂く。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会